

受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（四十点）

この部分は
著作権の関係で
掲載出来ません。

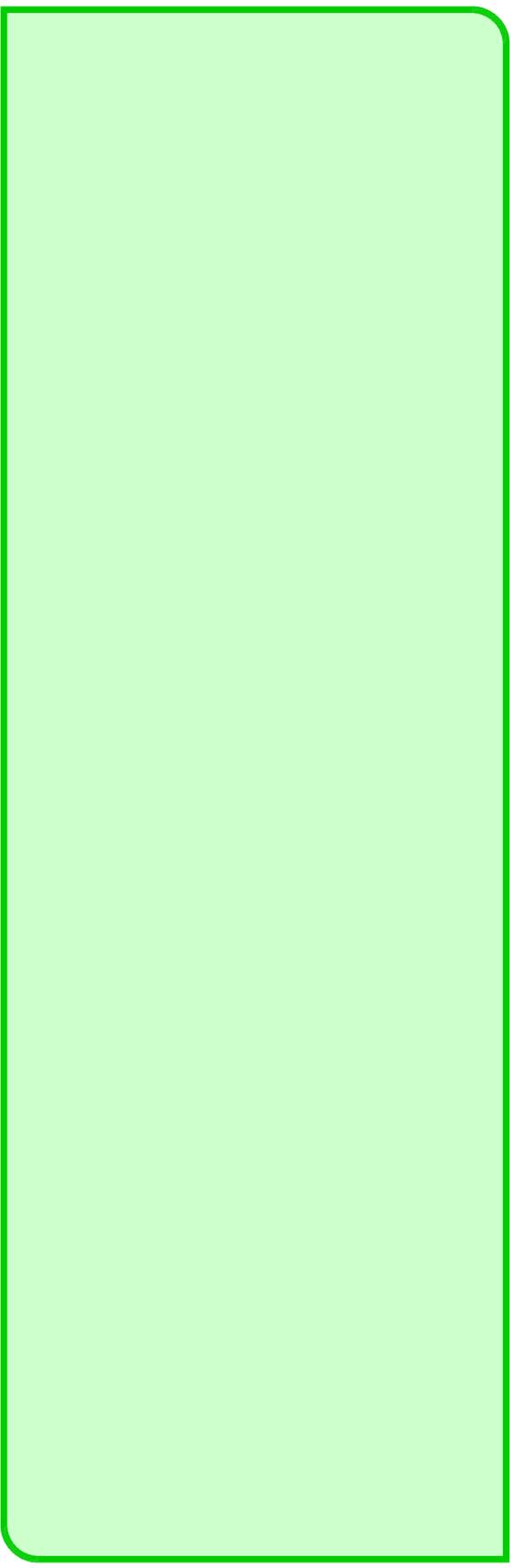
受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（四十点）

この部分は、
著作権の関係で
掲載出来ません。

受験番号



問1 線部 a、c の品詞名を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ア 動詞 イ 形容詞 ウ 連体詞 エ 形容動詞 オ 副詞

a
b
c

問2 線部 I 「かぶりを振る」 II 「たどたどしい」の文中における意味として最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---|---|
| <p>I</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 否定する気持ちを表す動作 イ 思い悩む気持ちを表す動作 ウ いらだつ気持ちを表す動作 エ 賛同する気持ちを表す動作 | <p>II</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 子どもっぽく、危なっかしい イ かと苦しく、分かりにくい ウ ぎこちなく、おぼつかない エ 細かく、よわよわしい |
|---|---|

問3 (A) (B) (C) を補うのに、最も適当な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。
ア ぎゅつと イ すつと ウ ぼそりと エ すとんと オ ふわりと

A
B
C

問4 線部①「それならやっぱり伴走者は代えたほうがいい」とあるが、新がそう考えるのはなぜか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 入賞することによって、練習することに熱中してしまったために、朔に怖い思いをさせてしまったから。
イ ケガをさせたことにより、伴走者としての自信をなくし、朔を無事に完走させることはできないと思ったから。
ウ 練習を積み重ねることで、十キロなら容易に走れるようになったので、自分の役目は終わったと思ったから。
エ ランナーのペースに合わせることを忘れて、自分の走るペースを優先してしまい、朔にケガをさせてしまったから。

問5 線部②「パートナーっていう関係」とあるが、朔が考えるパートナーとはどのような関係のことか。「関係」に続くように二十字以内で答えなさい。

--

問6 線部③「朔はシートベルトをしていなかった理由を言わなかった」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 頭を強く打ったことよって事故の時の記憶がなくなり、事故当時の状況をはっきりと覚えていないから。
イ 多くの人がケガをしたり、亡くなったりにショックを受けて、事故のことを思い出したくないから。
ウ 視力を失う大ケガをしたのは自分の意思による行動の結果であり、他の人のせいだと思われたくないから。
エ 今になって事故の話をして返すことで、大きなショックを受けた父や母に余計な心配をかけたくないから。

問7 線部④「めぐちゃんは事故のショックでしゃべれなくなっちゃって」とあるが、「めぐちゃん」にとって、何がショックだったのか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 大好きな絵を一生懸命描いていたのに、事故によって最後まで描き上げることができなかったこと。
イ 家族と楽しく過ごしていたはずのバスの時間が、多くの人がケガをするなど悲しい時間になったこと。
ウ 自分が落としたクレヨン拾おうとしたせいで、何の関係もない朔が自分の目の前で大ケガをしたこと。
エ 事故を起こすようなバスに乗り合わせたことで、大切にしていた水色のクレヨンを無くしてしまったこと。

問8 線部⑤「恥ずかしかった」とあるが、何が恥ずかしかったのか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 事故の後、自分のことをいろいろ調べて、わざわざ訪ねてくれたのに、笑顔を見せることができなかったこと。
イ 女の子が一生懸命点字で書いてくれたのに、自分から何もしていなかったせいであまり読めなかったこと。
ウ 目が見えなくなった自分のことを気遣い、点字まで勉強してくれたのに、お返しできるものが何もなくあったこと。
エ 父と母以外には内緒にしていたのに、誰にも会いたくなくて、寺に逃げ込んでいたことがばれてしまったこと。

問9 線部⑥「オレにとって、走るってそういうこと」とあるが、朔にとって走ることは、どういうことか。四十五字以内で答えなさい。

--

受験番号

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（二十点）

今は昔、唐の辺州に一人の男あり。家貧しくて宝なし。妻子を養ふに力なし。求むれども得る事なし。かくて歳月を経。思ひわびて、ある僧にあひて、宝を得べき事を問ふ。智恵ある僧にて、答ふるやう、「汝宝を得んと思はば、ただ誠の心を起すべし。さらば宝もゆたかに、後世はよき所に生れなん」といふ。この人、「誠の心とはいかが」と問へば、僧の曰く、「誠の心を起すといふは、他の事にあらず。仏法を信するなり」といふに、また問ひて曰く、「それはいかに。たしかに承りて心を得て、頼み思ひて、二なく信をなし、頼み申さん。承るべし」といへば、僧の曰く、「我が心はこれ仏なり。我が心を離れては仏なしと。しかれば我が心の故に仏はいますなり」といへば、手を摺りて泣く泣く拝みて、それよりこの事を心にかけて夜昼思ひければ、梵釈諸天来たりて守り給ひければ、はからざるに、出で来て、家の内ゆたかになりぬ。命終るに、いよいよ心、仏を念じ入りて、浄土にすみやかに参りてけり。この事を聞き見る人、貴みあはれみけるとなん。

〔宇治拾遺物語〕

- ※1 唐の辺州：中国の辺境の地 ※2 思ひわびて：思い悩んだ末 ※3 さらに：そうすれば ※4 後世：死後の世界
※5 承りて：お聞きして ※6 二なく信をなし、頼み申さん：他の事に心向けず信心をしておすがりいたしましたしよう ※7 梵釈諸天：仏法の守護神 ※8 はからざるに：思いも寄らず ※9 念じ入りて：一心に思つて ※10 浄土：極楽浄土

問1 線部Ⅰ「いふ」Ⅱ「問ひ」の主語として、最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 男 イ 妻子 ウ 僧 エ 梵釈諸天 オ 聞き見る人

問2 線部①「求むれども得る事なし」④「誠の心とはいかが」の意味として、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

- ① ア 結婚相手を見つけたかったが良い人はいなかった
イ 財産を得ようとしたが手に入らなかった
ウ 行方不明の妻子を探したが見つからなかった
エ なくした宝を探索したがどこにもなかった
④ ア 誠の心を差し上げましょうか
イ 誠の心はどこにあるのですか
ウ 誠の心を手に入れたいですか
エ 誠の心はどういうものですか

問3 線部②「誠の心を起す」とはどうすることか。十字以内で答えなさい。

問4 線部③「よき所」とは具体的にどこか。文中から二字で抜き出さなさい。

問5 線部⑤「承るべし」とは「お教えいただきたい」という意味であるが、何を教えてほしいと言っているのか。最も適当なものの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 財宝の埋まっている場所 イ 守護神に出会うための方法
ウ 妻子がいま住んでいる場所 エ 信心してすぐるための方法

問6 線部⑥「我が心はこれ仏なり」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人の言うことを素直に聞くことができる心を持つてば、仏になれるということ。
イ そもそも仏などというものは存在せず、自分の心で作上げた幻想だということ。
ウ 仏について思うことで、心の中に仏が生まれて信じていることができるということ。
エ 毎日念仏を唱えて修行をしていくと、自分のように仏の心を持つてるということ。

問7 〇に当てはまる語を文中から抜き出さなさい。

〇

問8 線部⑦「聞き見る人、貴みあはれみける」とあるが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 男が僧の言うことを信じて実践した結果、願いがかなえられたから。
イ 何度も質問する男に対しても、丁寧に答える僧の徳の深さが伝わったから。
ウ 男の尋ねる難しい問いに対して、常に僧が的確な答えを返したから。
エ 男が家族を幸せにするために、最期まで慎ましやかな生活を送ったから。

〇

問9 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 妻を得るためにはどうしてもお金が必要だと考えた男は僧に相談した。
イ 徳の高い僧は、欲深い男に何とかしてその欲を捨てさせようとした。
ウ 男は毎日泣きながら、自分を金持ちにしてほしいと仏にお願いした。
エ 男が仏のことをずっと思い祈ったので、守護神の力で幸せになった。

〇